

16歳の教科書 in 彦根東

貪欲に生きる

by 大西先生



▲「that」の真意について説明される大西先生

大西泰斗先生

- ・東洋学園大学人文学部教授
- ・「ドラゴン桜公式副読本16歳の教科書」の著者の一人
- ・テレビにも多数出演されている



▲大西先生は講演後も英語学習について話された。



速報新聞

キマグレ

発行所
彦根東高等学校

新聞部

彦根市金亀町4番7号

1月24日に「16歳の教科書 in 彦根東」が行われ、東洋学園大学人文学部教授の大西泰斗先生が「英語教育の昨日、今日、明日」と題して講演された。大西先生は約90分間実用英語や、英語の勉強法について講義された。

大西先生は講演で「英語を話せるようにするには、徹底的に例文を覚えるべきだ。教科書の文を徹底的に分析し、ネイティブの語順でそのまま解釈すれば良い。英語を英語のまま理解するべき。瞬間的に英作文を頭の中で作ろうとしてはいけない」とアドバイスされた。また受験英語の勉強法について「英文和訳がポイントになる。しかし、日本人は頭の中で日本語で理解しようとしているので、和訳が遅い」と述べられた。

最後に生徒へ向けて「貪欲に生きてほしい。確かに東高生は理解力はあるが、同じレベルの生徒は日本に限らず、世界にもたくさんいる。そのようなレベルで満足せず、どうしたら1つ上の段階に上がるか考えてほしい。資質はあるので頑張るしてほしい」と微笑まれた。

大西先生は講演で「英語を話せるようにするには、徹底的に例文を覚えるべきだ。教科書の文を徹底的に分析し、ネイティブの語順でそのまま解釈すれば良い。英語を英語のまま理解するべき。瞬間的に英作文を頭の中で作ろうとしてはいけない」とアドバイスされた。また受験英語の勉強法について「英文和訳がポイントになる。しかし、日本人は頭の中で日本語で理解しようとしているので、和訳が遅い」と述べられた。

大西先生は講演後「彦根東の生徒たちは理解力が高く、賢いと思った。ただ質疑応答の時間に積極的に質問をしてくる生徒が少なく、積極性がないと感じた。自分を伸ばすチャンスなのでもっと貪欲に掴みにいってほしい」と感想を話された。また現代の英語教育について「今の生徒は話



▲大西先生は英語の勉強法のほかに、発音やアクセントについても熱く指導された。